

- ◆災害対応としてトイレの数を増やして、災害時もすぐ使用ができるのが理想。設備の充実を。
- ◆災害に強い庁舎、維持管理費が少ない庁舎、高齢者が使いやすい庁舎を希望。
- ◆平坦で広々とした感じの、ひと目で益城町役場だとわかるような庁舎であってほしい。
- ◆新庁舎建設について具体的な説明をお願いしたい。
- ◆ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎としてほしい。
- ◆障害者支援施設で製造した弁当やパンなどを常時販売できる設備があればいい。
- ◆公共交通機関およびタクシー等に配慮してほしい。
- ◆町の未来に向け、町民が集うような空間デザイン。
- ◆段差の問題、駐車場との出入りを考慮してほしい。
- ◆シンプルでわかりやすい動線で動ける庁舎、大きな文字で各場所等の標示、住民のための庁舎を希望。
- ◆災害に対して、建屋だけでなく、通信ネットワーク環境も整備し、情報発信が絶えることのないようにしてほしい。
- ◆防災拠点としての機能の充実を。災害時の備蓄等に関しても、庁舎建設と合わせて考えてもらいたい。
- ◆役場機能と公民館機能はしっかり分けるべき。
- ◆雨の日に、駐車場から庁舎までの距離が短いと便利。
- ◆喫茶コーナーなど住民の休憩スペース、飲みもの持ち込み可の学習スペースがあるといい。
- ◆県産の木材等を利用し、温かみのある庁舎で、町民の利便性を考えて町のシンボルとなる庁舎としてほしい。↗
- ◆できるだけ早く建ててほしい。
- ◆現在地に建設の場合はスペースがないので、行政サービス機能のみに限定し、災害対応拠点機能、屋外広場等付加的機能は仮設庁舎周辺に建設してはどうか。
- ◆どこの市町村にも負けない、立派で利用しやすい庁舎を。
- ◆町議会のようにすそをロビー等で観ることができるようにモニターテレビなどを設置してほしい。
- ◆窓口の夜間対応を充実するか、土曜の午前中を開庁してほしい。
- ◆高齢・福祉サービスを向上させることで、さまざまな人が利用しやすい施設になる。
- ◆非常事態には広い空間として使えるようにし、すぐにでも住民に開放できる空間を兼ね備えた庁舎にしてほしい。
- ◆将来を見直した町のビジョンに合うための立地を考えてから建設することが必要。
- ◆地下水の美しさをアピールできるような、町民が利用できる公園を共に作ることでよかったらいい。
- ◆子ども関連の部署は1階に配置されていると、小さな子どもを連れた保護者は助かる。
- ◆高齢者が来庁した際に、腰かけできるように各所に椅子や手すりを設置し、お年寄りにやさしい庁舎、子連れでも行きやすい庁舎とする。
- ◆庁舎前に緑地と公園や、種類のイベントが開ける屋内スペース（町内の催し物、展示などPRするため）を希望。

町では、これから新庁舎建設に係る基本構想・基本計画を策定するにあたり、素案の段階で公表し、町民の皆さまの多様なご意見や提案などを求め、できる限り新庁舎に反映させていくため、パブリックコメントの実施を予定しています。

お知らせ 復旧事業課が役場仮設庁舎へ移転します

町公民館および公民館南側の仮設プレハブで業務を行っておりました復旧事業課が、12月中旬頃からグランメッセ木山線沿いの役場仮設庁舎の南館（本館南側）に移転します。

なお、仮設庁舎での業務開始日が決まりましたら、町ホームページおよび防災行政無線でお知らせします。

町民の皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承をお願いします。

